



## 2021年度の業績予測は甘い！ リニア建設は直ちに中止せよ！ 「令和2年度期末決算」経営懇談会

本部は4月28日、「令和2年度期末決算」の経営懇談会を開催しました。会社から決算の説明以外に、リニア建設費が1.5兆円増額することに対する説明がされました。

本部は、2021年度の業績予測の見通しの甘さについて指摘しました。会社は、コロナの先行きが分からないと前置きしながらも、「ワクチン接種により旅客需要が回復する」と主張しました。

リニア建設費について、本部は「長期債務が4.9兆円を超えないのが前提であったものが、今度は6兆円になった。経営は成り立たない」と指摘しました。会社は「財政投融资3兆円の利子は低金利で負担が少ないので、状況が変わったと」説明しました。本部は「国民の血税からの借金だから国民に説明責任がある」と主張したところ、会社は「支援機構から借りたもので、国民から借りたものではない」と、信じがたい見解を示しました。あらためて、リニア建設の中止を主張しました。

JR西日本が予定している産業雇用安定助成金制度を活用した出向について、本部は「JR東海でも行うのか」と質問したところ、会社は「考えていない」と回答しました。

「70歳就業法」の努力義務について、本部は「努力とは具体的に何か」と質問しました。会社は「法令に基づき適切に対応する」としか回答しなかったため、本部は「回答になっていない」と抗議し、懇談会を終了しました。

なお、リニア建設については、別途経営協議会を開催することになりました。